

漁連祭り



'19
10

No.294



長崎県漁業協同組合連合会
長崎県漁連ホームページアドレス
<http://www.nsgyoren.jf-net.ne.jp/>

▼ 『漁協一般職員研修会』を開催	1頁
▼ 第二十八回長崎さかな祭り	2頁
▼ 『第四回 伊王島朝市 海鮮秋祭』が開催される	4頁
▼ 長崎県水産業就業支援フェア	5頁
▼ 募金ありがとうございます	5頁
▼ 長崎県漁協専務参事会 視察研修を実施	6頁
▼ 全雄トナブリの市場導入に向けて 長崎県総合水産試験場 種苗量産技術開発センター 魚類科	8頁
▼ 漁船海難月報～速報(九月分)～ 第七管区海上保安本部	11頁

表紙の写真

今月号の表紙は、さかな祭りの様子を掲載しています。

『漁協一般職員研修会』を開催

総務指導部 指導課

去る九月二十五日から二十六日にかけて、本会及び長崎県漁協専務参事会は、市内ホテルにおいて漁協一般職員研修会を開催しました。

本研修会は、漁協運営において重要となる経理事務や協同組合論についての基礎知識を再確認し、今後の漁協運営の強化を図ることを目的に、長崎県漁協専務参事会と共催で開催し、県下二十七組合、三十七名が参加しました。

これまで、漁協の事業運営、日常業務を行う上で必要な漁協簿記や模範定款例の解説、法人税の書き方等を実施してきましたが、今年には漁協簿記（初級）および決算書の見方、協同組合論について研修を行いました。

なぜ、簿記が必要なのか、日頃作成している伝票が最終的にどのような資料に繋がっていくのか等、一連の流れとともに説明したため、参加者の理解度は高かったかと思えます。また協同組合論では、協同組合の歴史や特徴、協同組合原則などの基本的な部分から、これらを踏まえた上で漁協職員としての在り方について学習してもらいました。

参加者からは、「決算の意味が分かっていなかったが、今年は理解したうえで決算作業ができる」「研修内容に、日頃曖昧にしていた疑問点が集中的に組み込まれていたため勉強になった」「組合とはどういう立場であるか等、漁協職員として勉強になった」等の声が聞かれました。

アンケートを見ると、更にレベルアップした内容やもっと実務に近い内容を望む声や漁協職員同士で意見交換する場を設けてほしいなどの声も上がっているため、今後の研修内容の参考にしていきたいと思えます。

なお、研修会一日目の終了後には、懇親会を開催し、系統職員同士が親睦を深め合いながら、盛会裏のうちに全日程を終了しました。



漁協簿記の研修風景

第三十八回長崎さかな祭り

総務指導部 指導課

さる十月二十日に長崎魚市場にて本県水産物をPRすることを目的に、『第三十八回長崎さかな祭り』が開催されました。各種イベントや新鮮な鮮魚、水産加工品が格安で販売されることから、会場には多くの家族連れが訪れ来場者数は昨年並みの約三万五千人が来場しました。

当日は晴天の中、オープニングセレモニーとして長崎北保育園による「ごども龍踊り」を皮切りにテープカットが行われ、さかな祭りがスタートしました。



テープカットの様子

した。

会場中央では、養殖マグロ・ヒラマサの刺身試食会やお魚すくい捕り、くじら雑煮の試食会が実施され整理券を求める来場者で長蛇の列ができていました。その他のブースでは、レンコダイ・アジの一夜干し加工、煮付け食べ方指導会が実施されました。また、今年初めての試みとして養殖マグロの解体ショーや養殖トラフグの唐揚げを販売しました。



タッチプールの様子

(2)

メインステージでは昨年引き続き「大城バナサ歌謡ショー」や長崎魚市場のセリ人による「模擬セリ」が行われ、威勢のいい声を合図に参加者は鮮魚などをセリ落とそうと大きな声を上げ子供から大人まで大変賑わいま

本会ブースでは、「パネル展示」、「マダイの重量当てクイズ」、漁青連による「煮干の水族館」、長崎市水産センターと連携し「タッチプール」を行いました。

『パネル展示』ではタッチプール内の魚に関するパネルの展示や煮干の水族館に合わせ煮干の製造工程がわかるパネルを展示しました。『煮干の水族館』は、十二種類の魚が載った用紙に沿って煮干を見つけ出すというのですが、老若男女問わず多くの人で賑わいました。特に子供からの人気が高く、魚を必死に探し出す姿はとても印象的でした。



煮干の水族館の様子

『タッチプール』はプールに入れたナマコやヒトデなどに自由に触れることができる催しで、最初は恐る恐る触っていた子供達も慣れると掌に置いたり、持ち上げたりして楽しんでいました。『マダイの重量当てクイズ』では三キロ前後のマダイを展示し、午前と午後の二回に分けて行いました。投票用紙をもらうために長蛇の列ができ、午前・午後で約

三百枚ずつ用意していた投票用紙が瞬く間になくなりました。投票用紙を受け取った来場者はとても真剣な面持ちで、両手を広げて測ったり、指を使って長さを測ったりしていました。

当選者の発表時間に近づくにつれ投票した人が集まりだし発表を待ちきれない様子でした。当選者が発表されると喜びの声と落胆の溜息が入り混じり、重量が一番近かった投票者へ展示していたマダイを景品として渡しました。また、二〜十五位と飛び賞を含め二十名に一キロ前後の養殖マダイを景品として渡しました。当選者は笑顔で帰路につき大変好評でした。

『長崎さかな祭り』は魚食普及や長崎の水産物をアピールするため毎年長崎魚市にて開催され、様々なイベントが催されていますので是非お越し下さい。



マダイの重量当てクイズ 当選者

『第四次 伊王島朝市 海鮮秋祭』が開催される

総務指導部 指導課

去る九月二十九日に、長崎市伊王島町にある伊王島馬込漁港内にて、『第四次 伊王島朝市』が開催されました。

伊王島朝市は、西彼南部漁協および伊王島朝市会主催のもと、長崎市や軍艦島コンシエルジュなど多数の協賛を得て開催されています。

朝市では、新鮮な活鮮魚に加え、数量限定の海鮮丼や海鮮味噌汁の販売のほか、高級煮干しの詰め放題、釣り堀体験、模擬セリ体験など、様々なイベントが行われ、あいにくの雨模様にもかかわらず、子供からお年寄りまで多くの人で賑わっていました。



高級煮干の詰め放題の様子

(4)

煮干の詰め放題では、開始前から長蛇の列ができるほどの人気で、隣の人と競い合うようにして煮干を詰める様子が印象的でした。

また、模擬セリ体験やビンゴ抽選会、デイ

スゲッター大会（フリスビーでやるストラックアウト）では、新鮮な伊勢海老などが豪華賞品として用意されていたこともあり、会場は終始活気が溢れ、手に入れた来場者は満面の笑みを浮かべていました。



来場者が自由に参加する模擬セリ体験

伊王島朝市は、毎月最終日曜日に開催されており、これからは、秋カマスや伊勢海老などが目玉商品となります。

今回のように様々なイベントを催すのは、春と秋の年二回ですが、毎月開催している朝市では、鮮魚販売に加え、これからの季節は牡蠣焼きなどもすることができま

す。お買い得の海産物が揃っていますので、一度、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

長崎県水産業就業支援フェア

総務指導部 指導課

さる十月十二日に長崎県庁一階エントランスホールにて『長崎県水産業就業支援フェア』が開催されました。卸売業、加工業、沿岸漁業、底曳網漁業、大中型まき網漁業から三十五社が参加しました。

今回のフェアは、ながさき漁業伝習所本所の主催及び本会の後援で開催されました。

漁業のみならず水産業全体で人手不足が深刻な状況にあるなか、県内の高校生や求職者を新規就業者として呼び込み、人手不足の漁村地域や水産団体等と就業希望者との効果的なマッチングを図ることを目的として実施されました。

漁業に対して興味を持っている人や来年の就職に向けて説明を聞きに来た、長崎県立長崎鶴洋高等学校の二年生を含め約四十名が来場しました。来場者は出展者の説明を真剣な面持ちで聞きながら、時折質問を交え、とても有意義な時間になりました。

今回のフェアは初めての試みであり次年度も継続していくので、興味がある方は是非ご参加ください。



水産業就業支援フェアの様子

募金ありがとうございます

(公財) 漁船海難遺児育英会

(公財) 漁船海難遺児育英会は、漁船の海難事故(転覆・衝突等)や海中転落等の事故により、親を亡くされた遺児の経済的・精神的援助を目的に設立され、幼児から小中高生・大学生に学資の給与事業を行っています。

しかし、教育費の高騰により資金的にはまだ十分とはいえませんので、今後とも皆様の温かいご協力をよろしくお願いいたします。

また、九月には次の方よりご寄付をいただきましたので、ここに厚くお礼申し上げますとともに、紙上にお名前を掲載させていただきます。(敬称略)

【団体】▼三重地区みなと祭実行委員会

長崎県漁協専務参事会 視察研修を実施

長崎県漁協専務参事会

去る九月十八日から二十日にかけて、静岡県静岡市にある「由比港漁業協同組合」と同県伊東市にある「いとう漁業協同組合」、および「豊洲市場」へ視察研修を行いました。

視察研修は、長崎県漁協専務参事会（会員五十五組合）が本県漁協の運営及び発展に寄与する目的で隔年開催しており、今回は二十八名が参加しました。

研修は三カ所で開催し、大変有意義な時間を過ごすことができました。今回の視察研修で学んだことを、県下漁協の運営安定と発展に繋がるよう、努力していきたいと思っております。

～視察概要は次の通り～

由比港漁業協同組合



由比港漁協の外観

由比港漁業協同組合は、正組合員二四二名、准組合員二四六名で、桜えび漁業やしらす漁業、定置漁業などが営まれており、これらが漁協収益の柱となっている。

桜えびは、明治二十七年、由比の二名の漁師があじ漁を行った際に、偶然発見されたと言われており、現在一二七年目を迎えている。世界的にも珍しい資源管理型漁業である桜えびのプルル制（均等配分制度）は、昭和五十二年から導入され、現在では由比・蒲原・大井川の三地区、計一二〇隻で実施している。

昭和三十年代半ば頃までは、手作業で漁を行っていたが、徐々に機械化が進み、魚群探知機や無線が導入され、水揚量は増加していたが、その反面、魚価が暴落し、市場へ出荷せず廃棄することもあったという。このようなことを受け、価格調整を目的に、操業時間や水揚量等を制限するなど、模索しながらプルル制を開始した。桜えび漁においてトップクラスの水揚げを誇った当時の組合長が「価格調整はもとより、資源管理のことも考えて、プルル制を導入しよう」と呼びかけたこともあり、漁業者からの反発もあったが、最終的には、プルル制を導入したおかげで、桜えび漁が百年以上続いている。

プルル制を導入して良かったことは、過当競争による漁船同士の事故がなくなったこと

や漁業労務の軽減など色々あるが、漁協と漁業者の連帯感が生まれたことが一番だという。

ついでに漁業協同組合



いとう漁協齋藤参事より説明を受ける様子

いとう漁業協同組合は、正組合員三三三名、准組合員一八〇八名で、まき網漁業や棒受網漁業、定置網漁業、一本釣漁業など様々な漁業が営まれている。平成六年に市内五漁協と合併し、平成十二年には八幡野漁協を吸収合併した。更には、平成二十二年に熱海市にある網代港漁協と合併するとともに名称を「いとう漁協」に変更し、現在に至る。

●鮮魚の流通改革への取組み

自営定置による産直取引は、平成二十一年に静岡県内の高級小売チェーン「しずてつストア」と週一回程度の頻度で始まった。通常の取引は、漁業者が魚市場に水揚げし、それを買受人が購入、流通経路に乗せて販売するが、この産直取引は、しずてつストアの保冷トラックが水揚げ地である富戸漁港へ横づけされ、静岡市の配送業者センターを経由して、当日の午後には県下全店舗の店頭「朝獲れ」

の新鮮な鮮魚が並ぶ。これは、通常小売店と生産者が取引を行うにあたり、必ず直面する「壁」がなく次のような特徴がある。

①価格は、生産者の意向で決められる。

：魚種や大まかなサイズ別に、伊東魚市場や周辺市場の相場を参考にし、二〜三割上乘せた価格を単価として設定している。これは、同ストアが「安売り」を目的としたものでないことから、生産者側に有利な取引条件がうまれた。

②定置網に入る多種多様な魚を、選り好みなく引き取ってくれる。

：いわゆる雑魚に分類されてしまうような小さい魚や単価が高すぎて消費者向けでない高級魚でも、刺身やお造りパックに小分けするなど、工夫して販売している。

③生産者側は、無理な安定供給や欠品回避を要求されていない。

：週二回限定ということもあり、「ホンモノ感」を演出する意味からも、時化による欠品や水揚げ量が少なく各店舗に行き渡らない場合がある旨、同ストアのチラシに記載してある。



豊洲市場の場内を見学する様子

全雄トラフグの市場導入に向けて

長崎県総合水産試験場

種苗量産技術開発センター 魚類科

【はつらび】

本県の養殖トラフグの生産量は全国一位で約五十%のシェアを占める重要な産業となっています。しかし、近年は魚価の低迷や、餌料コストの増大等が追打ちとなり、養殖漁家の経営は厳しい状況にあります。これを打開し、養殖業者の経営を改善し安定させるためには、市場価値の高い養殖トラフグを生産、販売していくことが考えられます。ご存知のとおり、トラフグの精巢は高級食材である白子として珍重されており、白子入りの雄トラフグは、相場に左右されず雌の約一・三倍で取引されています(図一)。

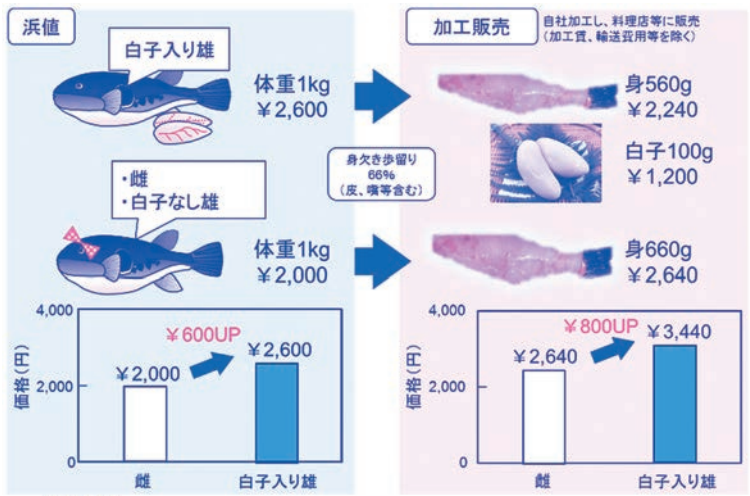


図1 トラフグ雌雄別価格イメージ

- XX-XY型の遺伝様式を示す (XY: オス, XX: メス)。
- Y染色体を持つものがオスになる。
- 通常の交配では、オスとメスは理論上同率出現。

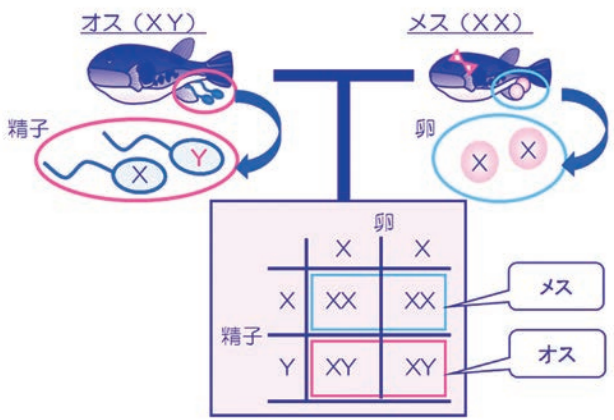


図2 トラフグの性決定

【全雄トラフグ作出方法】
 まずは、全雄トラフグの作り方について説明します。トラフグは、ヒトと同じくY染色体を持つものがオスになります(図二)。この染色体はオス親から子に引き継がれます。通常、オスが生産する精液には、X染色体を保有する精子とY染色体を保有する精子(便宜上、X精子およびY精子と呼ぶ)が同数含まれ、Y精子が受精するとオスになります。このため、Y精子のみを生産するオスを作出することができれば、子は全てオスとなります。

総合水試では、トラフグを選択的に市場価値の高い雄にする全雄トラフグ作出技術を平成二十七年に確立しました。今回は、全雄トラフグの市場導入に向けた取組みを中心に概要を紹介いたします。

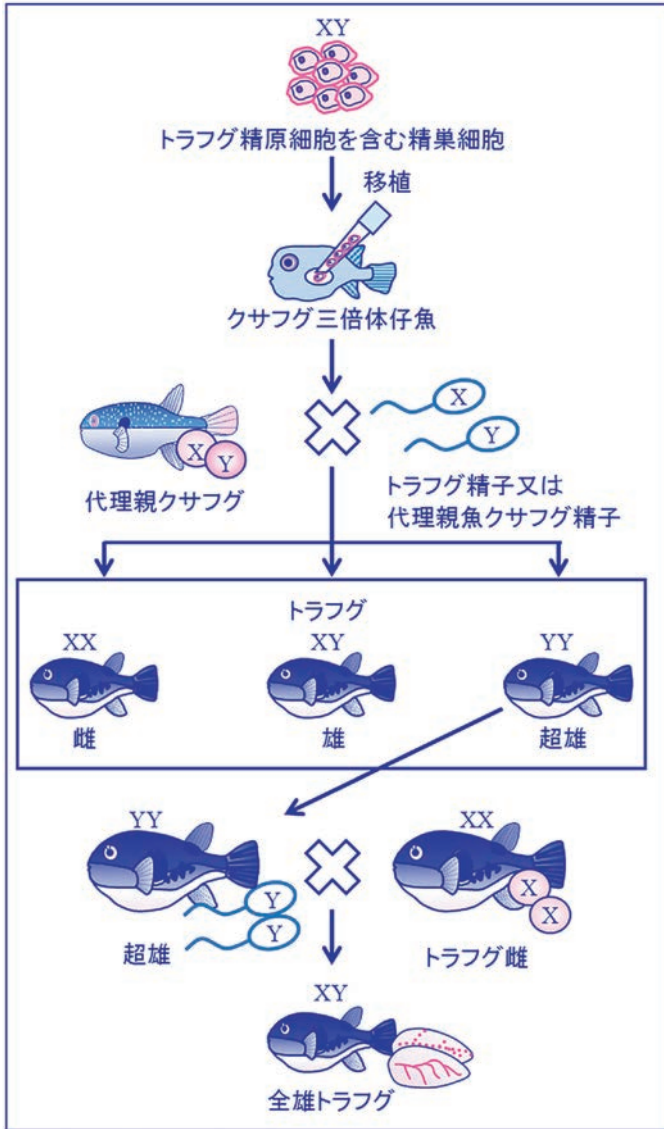


図4 代理親魚技術を用いた全雄トラフグ種苗生産

- Y染色体を2セット保有し、子供は全て雄になる。
- 子供は通常のオスと同じXY染色体を持つ。

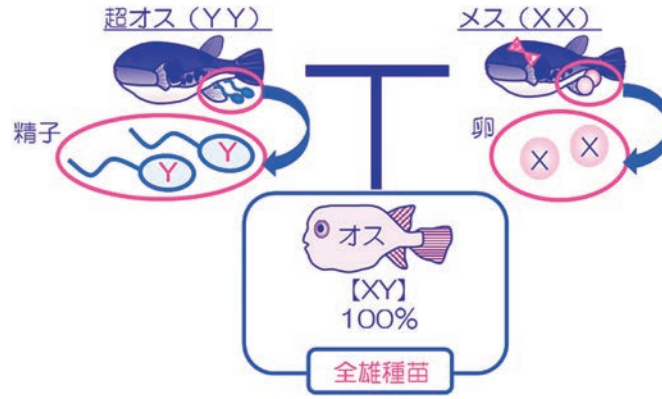


図3 超雄トラフグ

これを実現するものが、超雄トラフグです(図三)。超雄トラフグは、Y染色体を二セット保有するため、生産する精子にはY精子しか存在しません。したがって、超雄トラフグを作出できれば、全雄種苗の生産は可能となります。

そこで、超雄トラフグを作出する方法として代理親魚技術に注目しました(図四)。

この技術は、ある魚の卵や精子(配偶子)を別種の個体または同一種の別個体に生産させる技術のことです。方法は、トラフグ精子の基となる細胞(精原細胞)を取り出し、免疫能が未熟な(異種の細胞を拒絶しない)産まれたばかりのクサフグの腹腔内に移植します。移植したクサフグが成熟するとトラフグの配偶子を生産し、卵にはオス由来のY卵が含まれ、これから超雄トラフグを誕生させました。クサフグを代理親魚に利用した理由は二つあります。一つ目は、成熟までの期間がトラフグの二分の一であること、二つ目は成熟時のサイズがトラフグの約五十分の一と非常に小さいことです。このように、クサフグを代理親魚にすることで技術開発までのスピードアップが図られ、親魚管理に必要な設備や労力も削減できる利点があります。

これら成果の県内普及に向けて、超雄トラフグを用いて全雄種苗を生産し、成長や生残率等の養殖に対する適性を検証する試験を行いました。

【陸上養殖適性試験】

平成二十七年二月に雌一尾から得られた卵を六等分し、これらを超雄と通常雄それぞれ三尾分の精子と受精させ六種の種苗を生産しました。次にこれらの種苗を出荷サイズに達するまで飼育を継続しました。試験終了時に、全尾を取上げ、生残尾数、体重、白子重量を測定した結果、全雄種苗は、通常種苗と比較して生残率、成長、白子重量に有意な差は認められず、遜色はありませんでした(図五)。

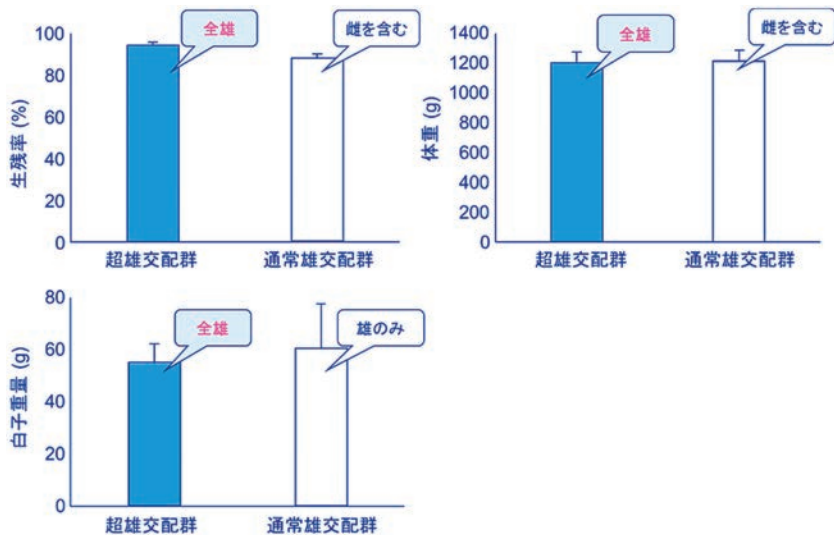


図5 陸上養殖適性試験結果

【海面養殖適性試験】

平成二十九年三月に総合水試で全雄種苗の生産を行い、県内二者の養殖業者に合計一・三万尾の飼育を委託しました。その結果、出荷時の平均体重は一・三キログラム、生残率は約六割で、通常のトラフグと同等で途中に大きな減耗もなく順調に生育しました。

前述した二件の陸上および海面養殖適性試

験では、全雄種苗の生産を総合水試で行いました。しかし、全雄種苗を実用化させるためには、民間の種苗生産機関が全雄種苗を生産できることが必須となります。このため、平成三十年二月に県内種苗生産機関に生産を委託し、民間による全雄トラフグの種苗生産試験を実施しました。その結果、受精率七十%、ふ化率五十五%とややふ化率は低かったものの、三センチメートルサイズまでの生残率は七十一%と好成績を収め、その後の生育も順調でした。生産した全雄種苗は、県内七者の養殖業者(海面養殖六者、陸上養殖一者)へ四・七万尾を配付し、現在養殖適性試験を行っています。各養殖業者からの間取りによると、これまでの養殖過程において大きな問題もなく、通常のトラフグと特に変わらず順調に生育しているということです。令和元年度にも同様の仕組みで、民間業者四者が種苗生産試験を行い、その種苗十三万尾を用いて養殖適性試験を、県内十八の養殖業者が実施しています。

【おわりに】

全雄種苗の市場導入により、白子が過剰供給となり価格が暴落することは絶対に避けなければなりません。そのため、総合水試では関係者と協議しながら、白子の適正価格を維持できる供給量を検討していく予定です。現在行っている養殖適性試験を通じて、全雄出荷尾数が白子の価格に与える影響を調査し、市場の動向を見据えながら慎重に対応してまいります。

今後とも、養殖業者および消費者ニーズに応えた様々なバリエーションを持つ付加価値の高い全雄トラフグの開発に取り組む考えです。

(担当 濱崎 将臣)

海の事故 **0** を目指して

自船の安全確保3か条

その1 発航前、機関や燃料等の点検の実施

発航前は、船体とエンジン周り、燃料・潤滑油の量、バッテリーの状態を点検するとともに、最新の気象・水路情報等を入手しましょう！

その2 航行時、常時見張りの徹底

航行時は、他の船舶の動向や浅瀬・定置網など周囲の水域の状況を継続して把握する必要があることから、常時適切な見張りを実施しましょう！

その3 故障時に備え、救助支援者の確保

事故で最も多いのが機関故障！発航する際は、万が一の機関故障の発生に備え、仲間の船やマリナー等の救助艇による救助体制をあらかじめ確保しておきましょう！

また、併せて入航時刻等を家族やマリナー等へ連絡しておきましょう！
※水上オートバイは民間救助組織の対象外の場合がありますので注意しましょう。

海難防止のための
いろいろな情報を
掲載しています！



Water Safety Guide

海上保安庁

海を安全に安心して楽しむための
総合安全情報サイト！
ウォーターセーフティガイド



船舶海難速報

マリナーレジャー
人身海難速報

日々の海難を掲載！
海難速報



ツイッター公式アカウント
[@JCG_koho]



YouTube 公式アカウント
「海上保安庁」



海上保安庁 海の安全推進本部

「海の安全情報」に関するお問い合わせは、下記までにお願いたします。

海上保安庁交通部安全対策課

TEL 03-3591-6361 (代表) MAIL jcg-mics@mlit.go.jp

平成31年3月作成

漁船海難月報 令和元年10月号 第七管区海上保安本部 交通部安全対策課 発行

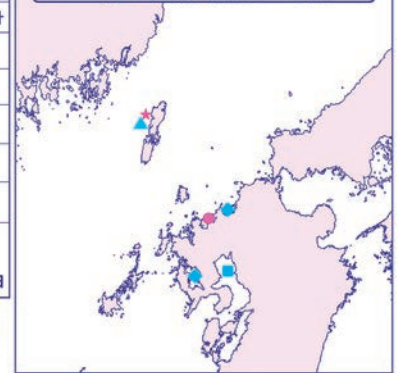
令和元年9月
七管内漁船海難 計6隻

令和元年9月累計83隻(前年70隻)

漁船海難発生件数が前年に比べ**13隻増加!!**

漁船海難隻数 (速報値)	県別内訳	
	9月	令和元年累計
衝突 ★ 1	山口県 0	11(7)
火災 ● 1	福岡県 2	17(12)
運航不能 (機関故障) ■ 1	佐賀県 1	7(5)
運航不能 (有人漂流) ▲ 1	長崎県 3	41(34)
運航不能 (無人漂流) ◆ 2	大分県 0	7(12)
合計 6 隻 (前年 10 隻)	合計 6 隻	83 隻 (70 隻) ○は昨年同日

9月の漁船海難発生地点



県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。



曳航救助されるA丸

<事事故例(機関故障)>

A丸は、航行中に突然、機関冷却水高温警報が鳴り、オーバーヒートのため航行が出来なくなり、曳航救助されました。

その後の調査において、冷却水ポンプへと繋がるVベルトが破断し冷却水の循環が出来なくなり、オーバーヒートしたことが判明しました。

- ・ Vベルトは摩擦や経年劣化により、すり減ったり、ひび割れを起こします！
- ・ 見た目では交換のタイミングがわかり難いため、定期的に専門業者に点検してもらいましょう。



気を引き締めて
海難ゼロを目指そう!!

見張りの励行
自動操舵装置の
適切な使用を

期間
・漁船セーフティラー
10月1日～12月31日
・漁船安全操業推進月間
10月1日～10月31日



あっぱれ



信頼を実績で築く

船舶塗料の専門店

CMD 中国塗料株式会社 特別店 山二塗料です

外壁塗装+屋根塗装なら 無料 山二におまかせください!!

創業昭和34年の実績を積んだ専門店

山二塗料産業株式会社

〒850-1100 長崎市東区南町1丁目1番10号

□ 佐世保店 ☎ 0956-31-8020

□ 長崎店 ☎ 095-837-8020

□ 鹿兒島店 ☎ 099-260-0600

グラビア印刷・ラベル・農水産用包装資材・発泡スチロール・包装機械

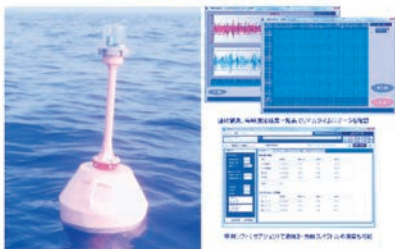


包装資材メーカー

株式会社 丸本

本部/長崎市田中町593-1 TEL(095)837-1100
 営業部/長崎市田中町593-1 TEL(095)837-8205
 メールアドレス/eigyoubu@marumoto-pack.co.jp
 工場/福岡

小型軽量タイプのプイ式波高計測装置
 簡易型波高計測装置



測定項目

波高、波周期、緯度経度

「加速度式波高計」を搭載！
 「MEMS超小型加速度センサ」を搭載！
 「特定小電力無線方式」を利用！
 重量は約20Kgで取扱も簡便！

株式会社ゼンライトプイ九州営業所

TEL:092-674-0001 FAX:092-674-0002

NEW冷蔵庫長-40℃



当社開発の新キルティング
 “BLAXX”を採用し、保温性アップ。
 さらに、抗菌防臭効果を発揮。



シバタ工業株式会社

本社・工場 〒674-0082 明石市魚住町中尾 1058 TEL.078-946-1515 (代)
 長崎出張所 〒852-8124 長崎市辻町 3-40 平山ビル 1F TEL.095-844-1210

プロフェッショナル向け保安用品を提供する専門店
 SHIBATA PRO SHOP
<http://shibataproshop.jp/>

FURUNO

フルノ九州販売株式会社

西九州支店 〒852-8003 長崎市旭町3番15号 ☎(095)861-3261
 北九州支店 〒750-0067 山口県下関市大和町1丁目11番3号 ☎(083)267-9111
 南九州支店 〒889-3204 宮崎県日南市南郷町中村乙484-7番地 ☎(0987)64-1108

<http://www.furuno.co.jp/>



(有)正文社印刷所

〒850-0874 長崎市魚の町6番6号
 TEL(095)826-0211 FAX(095)825-0538

URL <http://www.seibunsha-print.co.jp>

貝殻
リサイクル構造物

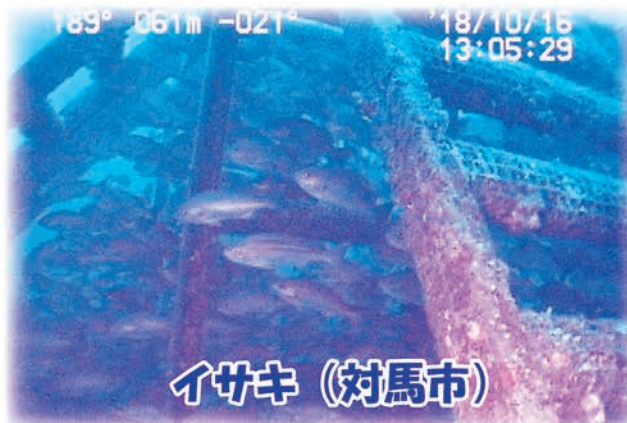
JFシェルナース



魚礁



シェルナース6.0型



イサキ (対馬市)



マアジ (南島原市)



イサキ (壱岐市)



マダイ (平戸市)

育成礁



シェルナース2.2型

お問合先 JF長崎漁連 購販部 購買課 TEL 095-829-2420

開発・製造 海洋建設株式会社

JF
JFグループ

漁師の考えた藻場ブロック

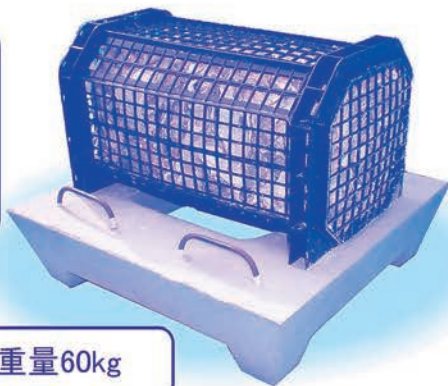
かいそう 貝藻くん

第20回
国土技術開発賞
「創意開発技術賞」
を授賞しました！

漁港内での活用

漁港内に設置された貝藻くんは
放流の受け皿としての機能を発揮！

長崎県686基
(全国6,000基以上)
の採用実績
(2013~2019.3)



60cm × 55cm × 45cm、重量60kg



貝藻くんの下に隠れるクエ



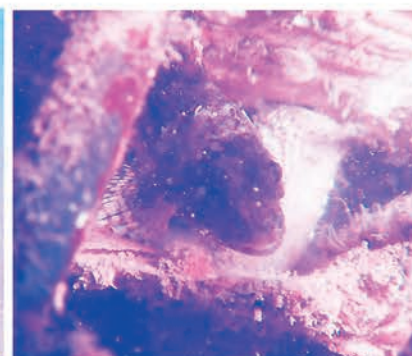
クロメ育成状況



環境学習
(種系取り付け体験)



マダイ



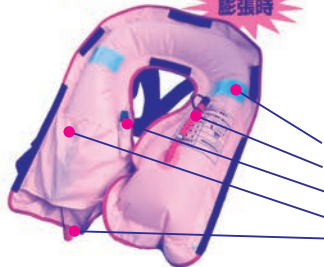
カサゴ

JF
JFグループ

着けよう、
あなたが家族のことを
思うなら。



めざせ！
海難事故
ゼロ



膨張時
反射リフレクター
エア吹入補充バブル
ホイッスル
炭酸ガスボンベ
手動レバー

自分の命は自分で守る！
わずらわしさと窮屈さから解放！
ベスト感覚で着れる
ファッショナブルなライフジャケット
常時着用型救命胴衣(自動膨張式)

お問い合わせは、長崎県漁連 購買課まで TEL 095-829-2418~2420

インターネットショッピングサイト

長崎県の安全・安心で新鮮な鮮魚・加工品を
インターネットを通じてダイレクトに食卓へお届けします！！

長崎漁連ウェブショッピング

<http://www.jf-nagasaki.com>



水産王国・長崎が誇る
海からの新鮮な贈りもの。
「安心」で「安全」な海の幸を
みなさまの食卓へお届けします。

初めての方へ

登録無料！

メール会員募集中！

メール会員登録するだけで、
毎月2~3回プレゼントが
当たるチャンス！

詳しくはこちら

全国第2位を誇る海岸線の延長を持つ長崎県。
多くの島々や半島・岬・湾を有しており、恵まれた漁場環境を生かし、
長崎県内JFグループの会員漁協では「安心」で「安全」な
「海の幸」をみなさまの食卓へお届けするため、努力しております。



JF 長崎県漁業協同組合連合会

漁協は、JFグループへ。

JFブランド商品

“ギョレンオイル 大漁シリーズ”

漁船用エンジンのための最高級オイル。

〈エンジンオイル〉

大漁スーパー

大漁ロイヤル

大漁LL

〈油圧作動オイル〉

大漁ハイドロスーパー

〈冷凍機オイル〉

大漁ベストクール



海には、JFマークの商品を。

JF

JFグループ

問い合わせ先

JF全漁連 購買事業部 石油第2課

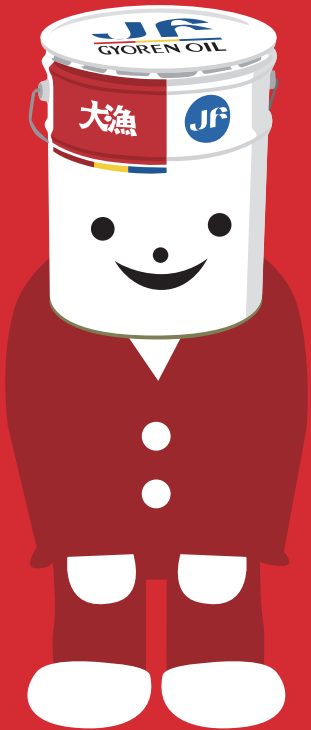
TEL 03-3294-9632

JF長崎漁連 購買課

TEL 095-829-2419

発行／長崎県漁業協同組合連合会 長崎市五島町二番二十七号 電話（八二九）二四一三 千八五〇一〇〇三六
年間購読料二〇〇〇円 会員の購読料は会費を含む

JF
JFグループ

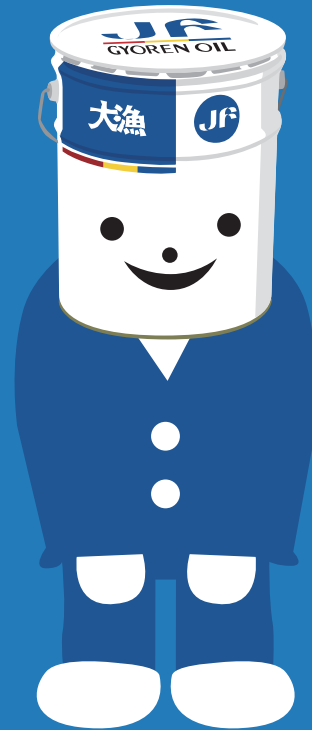


これからもよろしく大漁オイル

ギョレンオイル
大漁
シリーズ
(エンジンオイル)
大漁スーパー
大漁ロイヤル
大漁LL
(油圧作動オイル)
大漁ハイドロスーパー
(冷凍機オイル)
大漁ベストクール



JF
JFグループ



これからもよろしく大漁オイル

ギョレンオイル
大漁
シリーズ
(エンジンオイル)
大漁スーパー
大漁ロイヤル
大漁LL
(油圧作動オイル)
大漁ハイドロスーパー
(冷凍機オイル)
大漁ベストクール

